

長池公園ってどんなところ？



長池公園は、農業用のため池としての役割を担っていた「長池」と「築池」を中心に配し、これらを取り囲むように小川や湿地、そして広大な雑木林が残された、面積 20ha の自然保全型公園です。公園の名前の由来となった長池には浄瑠璃姫の伝説も残されています。

里山文化の継承と創造



「里山文化の継承と創造」それが長池公園のテーマです。

この地の風土を育んできた人々が長年にわたって受け継いできた雑木林と長池・築池のため池、そして四谷見附から移築された長池見附橋と、新たにデザインされた姿池の調和が、都市における人と自然の新しい共生の形を象徴しています。

創意工夫の公園管理



長池公園は、地域の人々の憩いの場であるとともに、貴重な動植物の保全の場でもあります。公園を美しく保ち、来園者が快適に過ごせるよう努める一方で、里山の景観や希少物の保護に力を入れています。また、国内の多様な自然環境を保全するため、農地や山林の伝統的な管理手法に加え、時代に沿った新しい技術の導入にも積極的に挑戦しています。